借金の相談に持っていくメモ

分かるところだけで大丈夫です。空欄は「まだ分からない」と伝えられます。期限のある書類が届いている場合は、全部書き終える前に、書類の名前と期限を相談先へ伝えてください。

1　先に伝えたいこと

いま一番困っていること

届いた書類の差出人・名前・期限

相談を希望する日時と連絡方法

2　同じ日の借入残高

不明な欄は空欄でよい。

確認日

借入先

現在残高　　金利　　毎月の返済額

返済日　　滞納の有無　　返済資金の出どころ

借入先

現在残高　　金利　　毎月の返済額

返済日　　滞納の有無　　返済資金の出どころ

借入先

現在残高　　金利　　毎月の返済額

返済日　　滞納の有無　　返済資金の出どころ

借入先

現在残高　　金利　　毎月の返済額

返済日　　滞納の有無　　返済資金の出どころ

3　毎月のお金

利用可能枠を預金として数えない。

手取り収入

家賃・食費・光熱費等の生活費

現在の返済合計

生活費を残して払える見込み額

4　依頼前に聞くこと

担当してもらえる範囲

相談料と依頼費用の税込総額

追加費用の条件

分割の開始月・月額・回数

返済と費用が重なる月

送金代行手数料の単価・毎月合計・期間

自分で振り込む方法への変更可否

連絡・郵送・面談の方法

5　相談後に残すこと

担当者

相談日時

説明された選択肢

次に用意する資料

次の連絡日

費用の見積書を受け取ったか

予約時の一言例

「返済を続けられず相談したいです。借入先と金額は分かる範囲で書きました。○日までの書類があります。予約方法と相談料、持参するものを教えてください」。

書類がない場合は該当部分を省く。

記入済みのメモはご自身で保管し、相談する相手を確認してから必要な範囲だけ見せてください。相談しただけで契約や手続きが完了するものではありません。